

「2学期が始まりました。」

教頭 宮北弘樹

「オリンピック」「パラリンピック」「地震」「多様性」「民主主義」「熊」「SNS」「大統領選挙」「戦争」「原爆」「大雨」「猛暑」「洪水」「国宝」「水の事故」など。毎年夏のキーワードを考えますが、例年とあまり変わっていないことに気づきます。今年はオリンピックイヤーなので、「オリ・パラ」が入っています。

7/26～8/11までパリオリンピックが開催されました。連日夜中から明け方まで熱戦が伝えられ、メダル獲得や競技の内容まで詳しく紹介されていました。ある競技の選手は「やはりオリンピックは特別ですか？」との問いに「こうしてメディアで取り上げられるので！」と答えていました。確かにオリンピックでは日頃見る機会の少ない競技が行われるので、いろいろな競技について知る大変良い機会であると思います。私自身も今まであまり知らなかった競技をオリンピックを通じて知り、興味を持ちいろいろ調べてみて新しいことを知ったこともあります。その意味ではオリンピックは特別なものではないかと思います。

そんな中、印象に残ったものが2つあります。1つはフェンシングです。男女ともにメダルを獲得し、大きなニュースになりました。金メダルを獲得した日本男子の監督はフェンシングの母国であるフランスの方であるということも印象に残っています。実は日本男子フルーレは去年の世界選手権で優勝しており、近年日本を含むアジア勢が実力を伸ばしており、今回の金メダルがまぐれでないことがわかりました。選手をはじめ関係している方々のこれまでの地道な努力の成果だと思います。また、フルーレ、エペ、サーブルの3種目があることや、使用している剣にも種目により違いがあることもわかり、奥深さを感じました。

もう1つはスポーツクライミングです。自分の手足と絶妙なバランスで壁を登っていく競技。選手たちが壁を見つめ、イメージを膨らませ、そして課題にチャレンジしていく。見ていて楽しく、若ければ自分も挑戦してみたい競技です。競技も面白いのですが、ニュースで「ルートセッター」という役割があることを知りました。壁のルート（課題）を作るのが仕事です。選手にとって安全で、公平で、適度な難易度で、そして観客も見ていて盛り上がる。そんなルートを作るのだそうです。パリオリンピックでは岐阜県各務原市出身の方がルートセッターとして活躍されていました。競技の結果や選手にスポットが当たりがちですが、裏方として、大変重要な役割で活躍されている方もいることを知り、個々人が自分の持てる力を最大限に発揮することが大切であることと、その場は多方面にあるのだということがあらためてわかりました。大きな可能性を持っているみなさんも、これからどんなことでその才能が開花するかわかりません。いろいろなことに興味を持ち、いろいろなことにチャレンジして、自分の活躍の場を見つけてほしいと思います。

ちなみに、「^{かかみがはら}各務原市」が読めなくて調べました。まだまだ知らないことばかりです。調べてみたら人口は約15万人、人参の生産が盛んなことや、キムチがご当地グルメであることがわかり面白かったです。新しいことを知るということはやはり楽しいですね。

さて、2学期が始まりました。まだまだ暑い日が続きますので、熱中症に気をつけて元気に過ごしてほしいです。9月にはチャレンジテストがあるので、各教科の学習を頑張してほしいです。また、10月には錦秋祭があります。それぞれの部門でのみなさんの活躍に楽しみにしています。